

|          |   |      |                                  |
|----------|---|------|----------------------------------|
| 科目名      | <b>刑事政策</b>   | 科目分類 | ■専門科目群（第1グループ）<br>□総合科目群（第2グループ） |
|          |   |      | 法律学科 □必修 ■選択<br>学科 □必修 □選択       |
| 英文表記     | <b>Criminal Policy</b>  | 開講年次 | □1年 □2年 ■3年 □4年                  |
| ふりがな     | おかざき しょうへい  | 開講期間 | □前期 ■後期 □通年 □集中                  |
| 担当者名     | 岡崎 頌平   | 修得単位 | 4単位                              |
| 授業のテーマ   | 犯罪現象論、犯罪原因論、犯罪対策論の基礎的知識の習得  |      |                                  |
| 授業概要     | 本講義は、犯罪白書等を用いて現代日本における犯罪情勢を理解するとともに、犯罪原因・犯罪対策一般について学習します。その後、犯罪被害者の保護や、少年非行など具体的な各種犯罪とその対策についても学習します。   |      |                                  |
| 到達目標     | 受講者は、本講義を履修することで、日本における犯罪情勢を理解し、その原因と対策について説明することができるようになる。   |      |                                  |
| 授業時間外の学習 | 各回の授業で扱う内容について教科書の該当箇所をあらかじめ読むこと。<br>なお、可能であれば、授業開始までに教科書は一度通読しておくことが望ましい。  |      |                                  |
| 履修条件     | 刑法入門、刑法総論、刑法各論、刑事訴訟法が履修済みであることが望ましい。  |      |                                  |
| 授業計画     |   |      |                                  |
| 第1回      | イントロダクション；犯罪の情勢①  | 第17回 | 犯罪の予防                            |
| 第2回      | 犯罪の情勢②  | 第18回 | 犯罪被害者の保護と支援①                     |
| 第3回      | 犯罪の情勢③  | 第19回 | 派罪被害者の保護と支援②                     |
| 第4回      | 犯罪原因論①  | 第20回 | 少年非行①                            |
| 第5回      | 犯罪原因論②  | 第21回 | 少年非行②                            |
| 第6回      | 犯罪原因論③  | 第22回 | 少年非行③                            |
| 第7回      | 犯罪対策①   | 第23回 | 暴力団犯罪                            |
| 第8回      | 犯罪対策②   | 第24回 | 薬物犯罪                             |
| 第9回      | 犯罪対策③   | 第25回 | 精神障害者の犯罪                         |
| 第10回     | 犯罪対策④   | 第26回 | 高齢者による犯罪                         |
| 第11回     | 犯罪対策⑤   | 第27回 | ファミリー・バイオレンス                     |
| 第12回     | 犯罪対策⑥   | 第28回 | 交通犯罪                             |
| 第13回     | 犯罪対策⑦   | 第29回 | 犯罪の国際化                           |
| 第14回     | 犯罪対策⑧   | 第30回 | 全体のまとめ                           |
| 第15回     | 犯罪対策⑨   | 第31回 | 定期試験                             |
| 第16回     | 犯罪対策⑩；中間試験  |      |                                  |
| テキスト     | 川出敏裕・金光旭『刑事政策』成文堂(2012年)<br>なお、六法は必ず最新のものを持参すること。   |      |                                  |
| 参考文献・資料  | 前田忠弘ほか『刑事政策がわかる』法律文化社(2014年)；守山正ほか『ビギナーズ刑事政策[第3版]』成文堂(2017年)  |      |                                  |
| 成績評価の方法  | 試験 70% (中間試験 30%、定期試験 40%)、小テスト 30%   |      |                                  |
| 成績評価基準   | 【平成27年度(2015)以前に入学した学生】<br>優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)<br>【平成28年度(2016)以降に入学した学生】<br>秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)<br>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。 |      |                                  |

|               |   |
|---------------|---|
| オフィスアワー       | 月曜日 13 : 00～14 : 30 ; 木曜日 14 : 40～16 : 10 |
| 学生への<br>メッセージ | 予習でテキストを読む際は、ぜひ疑問点などをメモして、講義に臨んでください。     |